

滋賀県立草津養護学校

活動テーマ

地域を綺麗に、未来を育むエコアクション

実践事例について

環境美化や資源循環を目的とした持続可能な地域作りの活動として、地域清掃や紙工（紙漉き）を、作業学習の取組として行っている。毎週近隣地域に出かけ、道路脇に捨てられているごみや空き缶などを集めたり、年間通して全校から提供を受けた牛乳パックや不要紙をリサイクル製品化したりする活動を通して、積み重ねた経験を卒業後の生活に繋げたいと考える。清掃やリサイクル活動を行い、住みやすい綺麗な地域作りや、エコ意識を育むことを目指し、活動に取り組んでいる。

1 学校紹介

本校は、福祉・文化ゾーンの中に、平成3年4月1日に知的障害と肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校として開校し、令和2年に創立30周年を迎えた。開校当時は103名の児童生徒であったが、今年度は401名が在籍している（令和6年5月1日）。児童生徒は校区である大津市南部と草津市全域から、スクールバスや公共交通機関等を利用して通っている。隣接する「びわこ学園医療福祉センター草津」内にある校舎で学ぶ児童生徒もいる。すべての児童生徒が、豊かに人と関わりながら、生き生きと学校生活を過ごし、将来に向け、たくましく生き抜く力を育むことを目指している。

2 対象生徒

本活動に取り組んだのは高等部の生徒23名からなるグループである。本グループの実態としては、集団に入ることが難しくても教師と一緒に頑張る生徒や、一人では活動に気持ちが向きにくいですが、教師を支えに学習に向かうことができる生徒、自分から積極的に取り組む生徒など様々である。思いや要求の表現については、発声や表情などで伝える生徒や、ジェスチャーで伝える生徒、発語で伝える生徒などがある。作業学習では、様々な道具を使用したり、友だちと協力したり、報告を意識したりしながら活動している。道具を扱う機会が少なく、不慣れなこともあるが、繰り返し取り組むことで達成感を感じ、主体的に取り組む姿

が見られるようになった。仲間と一緒に活動する中で、喜びや楽しさを実感できるよう、様々な工夫をして活動に取り組んでいる。

3 エコ・スクール活動の取組

(1) 活動項目

- ① 地域清掃
- ② 紙工（紙漉き）
「牛乳パックを活用した再生紙作りと小物作り」
- ③ シュレッダー作業
- ④ 空き缶つぶし

(2) 活動内容

① 地域清掃

毎週火曜日の午前、学校を出発して約1時間



20分のコースを教師含めて22名でゴミ拾いを行っている。全員で開始前に活動の説明や持ち物の確認をすることで見通しがもてるようにしている。毎時間、同様に確認することで意欲的にゴミ拾いができるようになっている。

地域の施設のバス停や信号の所にたばこの吸い殻やお菓子などの空き袋がよくあり、綺麗になるまで根気強く取り組む姿が見られている。定期的に清掃していることで道路のごみが随分減ってきた。また、地域の方と出会った時にはお互いに

挨拶を交わし、小さな交流の場にもなっている。



②紙工（紙漉き）

毎日の給食の牛乳パックを再利用して新たな和紙を作っている。紙工では、『牛乳パック切り』『フィルムめくり』『ミキサー』『攪拌』『紙漉き』『絞り』の6つの工程（班）に分かれて取り組んでいる。



過去にはコースター、ランプシェードを作成したり、卒業生に向けての「そつぎようおめでとう」メッセージの台紙などに活用したりした。



今年度は漉いた紙に色付けし、マグネットを貼り付けて『和紙クリップ』の作成に取り組んだ。作品を袋詰めし、メッセージを書いて保護者に販売したり、牛乳パックを集めてくれた友だちにプレゼントしたりすることで、作品を通して交流を深め、エコ活動の輪を広げることができた。

③シュレッダー作業



シュレッダーの活動は、ハンドシュレッダーに紙を入れ、ハンドルを回すだけで紙が細くなることに活動の分かりやすさとできた実感があり、生徒は一定時間集中して取り組める活動である。使用する

紙は学校でのミスプリントなどの不要な紙を使っている。取り組んだことが目に見えてわかるため、回を重ねていくことで自信を持って取り組むことのできる生徒が多かった。

④空き缶つぶし

本校の職員や保護者に呼びかけて集めた空き缶を活動に使用した。空き缶つぶしの活動自体はとても分かりやすいため、集中して取り組む生徒が多い。生徒によっては踏み込む際にコツを掴むまで、体重をかけることが難しいこともあったが、試行錯誤して綺麗に潰せた時にはやり切った達成

感を感じ、満面の笑みで報告する姿も見られた。



潰した空き缶は昨年度同様にリサイクル業者『株式会社 がんさん』に回収に来ていただく予定である。1kgあたり60～80円で買い取っていただいている。生徒の活動が空き缶のリサイクルに貢献するだけでなく、働いたことで対価が得られるという社会経験にもつながるという貴重な学習になっている。

「地域を綺麗に、未来を育むエコアクション」を通じて、地域を美しくする活動だけでなく、その先にある大きな可能性を実感した。活動を進める中で、生徒たちは地域清掃やリサイクルという具体的な行動を通して「環境保全」の意義を学び、持続可能な社会に貢献しているという実感を得ることができた。この経験が日常生活の中で「自分たちにもできることがある」と自信につながり、生徒たちの内面が大きく変化したと感ずる。

今回の活動を通じて見えてきたのは、生徒一人ひとりが主体的に取り組む姿勢が、卒業後の「自立」や「社会参加」に確かに繋がっていけるという可能性を感じたことだった。清掃を通して役割を果たし、牛乳パックをリサイクルして価値のあるものへと生まれ変わらせる過程において、生徒たちは責任感や創意工夫を自然と身に付けていくことができた。それは、「誰かのために自分でもできることがある」という社会的な役割を自覚する機会にもなった。

これからもエコアクションをきっかけに広がった環境活動の輪を絶やさず、未来に向けて生徒たちがさらに成長し続けられるよう、地域と共に歩んでいきたいと考える。

学校名	滋賀県立草津養護学校
住所	草津市笠山八丁目3番111号
電話番号	077-566-0012
E-mail	Mb85e@pref-shiga.ed.jp.